

有煒同窓会報

2025年(令和7年) 11月28日 発行 第38号



ホテルリッチ&ガーデン酒田で開催された総会

| 令和7年度役員 | | 常任理事 | | 齋藤 禎子 (S49年卒) | |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|--|
| 会 長 | 齋藤眞里子 (S45年卒) | 今野 幸子 (S41年卒) | 佐藤 美鈴 (S50年卒) | | |
| | | 土門 京 (S42年卒) | 柿崎寿摩子 (S51年卒) | | |
| | | 岩崎千英子 (S43年卒) | 佐藤 優子 (S52年卒) | | |
| | | 志田多恵子 (S44年卒) | 守屋 良子 (S53年卒) | | |
| 副 会 長 | 須田 和子 (S47年卒) | 三舩 一子 (S45年卒) | 佐藤 久美 (S54年卒) | | |
| | | 表山 裕子 (S46年卒) | 恵美 (S55年卒) | | |
| | | 佐藤 玲子 (S48年卒) | 齋藤 裕子 (S56年卒) | | |
| | | 高橋 千文 (S55年卒) | | | |

晴天に恵まれ182名のご来賓や会員の方々の出席のもと、令和7年度山形県立酒田西高等学校有煒同窓会総会・懇親会は盛大に行われました。当番学年の52年卒の皆様ありがとうございました。

開会に際し、高橋校長先生より文武両道に励む後輩の頼もしい姿をご紹介いただき、また同窓会には絶大なエールをいただき、ありがたいことでした。

役員は、同時に同窓会の理事でもあり、記念すべき男性会員の参加第1号となりました。来年度以降の男性会員の参加の突破口になることを願っています。

また、今年度は会場の都合で日曜日の開催となりました。土曜日の開催と参加人数に大きな変化はなく、今後も基本的には土曜日とし、事情によっては検討して開催日程を設定します。

役員の選任が大きな議題です。同窓会事務局が学校から離れ、役員が担って5年となります。組織を固めるためにも役員の選任は重大議案です。幸いにも、皆様から快く引き受けていただき、例年になく多くの理事、常任理事などが決定しました。今後とも、新役員の選任にご協力ください。

3年間、副会長としてご尽力いただいた佐藤玲さんは高橋千文さんと交代しました。退任された皆様のご尽力に感謝いたします。

懸案の名簿は、販売用の名簿発行を見送ることとなりました。名簿は同窓会活動の命綱です。管理

はこれまで通り(株)サラトに依頼し、活動に支障が起きないように運営します。今後、必要に応じて適宜検討していきますが、住所や氏名など変更がありましたら学校宛てに連絡願います。活動の基盤は会費ですが、近年の諸物価の値上がりの影響で、会報も一部白黒印刷となりました。会費納入にぜひご協力を。後輩の学校生活の充実に、会費が大変大きく寄与しております。

長寿会員の参加や高瀬靖先生の受章の報告が会に花を添え、当番学年の合唱も素晴らしい会でした。来年もお待ちしております。

よみがえる！お雛様の冠

永年にわたる西高生の学ぶ姿を見守ってきたお雛様も、劣化が進み、特に女雛の冠は、京都の人形師の見立てでは、「今なら直せる」とのこと。早速同窓会で修繕を依頼し、見事によみがえりました。卒業式の前後に正面玄関で会えますので、ぜひご覧ください。



更なる飛躍を

有煒同窓会会長 齋藤 眞里子

6月8日(日)、ホテルリッチ&ガーデン酒田で会員182名が参加し、令和7年度有煒同窓会総会・懇親会が開催されました。役員改選、今年度の事業計画と予算案、会則の改正など審議し、原案通り承認されました。4月に赴任したばかりの佐藤良多先生(平成30年卒)も同窓会担当職員として参加。男性会員参加第1号となりました。



足跡に宿る有煒の心

校長 高橋 秀典

戦後80年。同窓生を含む地域の皆さまの思いに支えられ、全日制・定時制それぞれで核廃絶と平和を願うポスターを展示しました。展示を見た生徒が「本当？」とつぶやいた姿に、あらためて伝えていくことの大切さを感じました。

生徒会誌や周年記念誌などに目を通し、本校の歴史と伝統に触れていると、戦時中を含め時代は異なっても、本校生そして同窓生は「まごころ(有煒の心)」で結ばれていることを実感します。また、同窓

生の皆さまと顔を合わせ語り合う場に参加する折にも、そのつながりを強く感じます。昨年7月の酒田豪雨から一年、今年度の同窓会総会では復旧から復興への願いを共有する機会もありました。

在校生も地域の課題に目を向け、学びや探究活動に取り組んでいます。こうした生徒たちの活動や活躍も、皆さまの温かなご支援あってのことであり、心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

東 西 南 北

憧憬の軌跡を映す燈火

幼児教育コンサルティング主宰

岡崎 まき(昭和54年卒業 東京在住)



「ふらんすへ行きたしと思へども ふらんすはあまりに遠しせめては新しき背広を着て 気ままなる旅にいでてみん。」詩人、萩原朔太郎『旅上』の書き出しです。未だ遠き夢であったフランスへの憧れを端正に映し出すこの一節が、私は大好きです。十数年前より、私はフランス語圏出身の女性と日本人が集い、フランス語を共通言語として異文化の交流を重ねる婦人会に携わっております。海外の友人が、多くの活動を通じて四季の移ろいや伝統文化に親しみ、学びを深める姿は、私に自国の文化を省察する機会を与えてくれます。フランスへの憧れの萌芽は高



著で和食をいただく フランス語婦人会のメンバーと

校時代。アポリネールの詩『ミラボー橋』に出会い、ユトリロの描くパリの街並みに心奪われました。意味も知らずに聴いたシャンソンの優雅な言葉の響きは、いつも脳裏で繰り返されていましたが、当時は受験に備えて英語を修める他なく、夢は静かに封じられていきました。

やがて月日は流れ、多忙な子育てを終えてようやく通い出した日仏学院では、多才な仲間と交わる中で、若き日の情熱と希求を再び息づかせることとなったのです。



◎佐藤美智子 (S45卒) 本間 幸子 (S48卒) 佐藤 玲子 (S48卒) 小野寺恵里子 (S50卒) 青山あつ子 (S51卒) 金子 和恵 (S52卒) 小松 由美 (S53卒) 柏谷万希子 (S54卒) 田澤 薫 (S55卒) 齋藤真結美 (S55卒)

編集委員



鳥海山麓の牧場にて

卒業60年経った今でも鮮明に思い出す秋田県小砂川からの汽車通学。朝の車中は勉強室。酒田に近づくにつれ話し声で賑やかになる。西高の「多様性」と「個性」を重視した自由な校風の下、努力・忍耐・希望をもつ精神が身につききました。この進取な精神が全くの素人でも絵本出版に繋がりました。10年前、愛猫にやごさんとの別れを偲び、娘とにやごさんと

絵本『にやごさん』出版を通した3年5組の絆

柴田 百合子 (昭和40年卒業 東京在住)

の想い出作りをしました。文は娘が主人公のにやごさんに自身を重ねたもので、仕事にさんざん悩んだ末に、人に役立つことを見つけ挑戦していく物語です。挿絵を担当した私は高校まで過ごした秋田県象潟から酒田に至る懐かしい風景や草花を描くことで故郷への想いを表現しようと悪戦苦闘して1枚1枚懸命に描きました。出版日が決まり次第、5組の何人かに報告したところ、次から次へと伝えられました。皆、

驚くやら喜ぶやら半信半疑でも、早速注文する友、保育園や幼稚園、小学校に自前で寄贈する友、紙芝居にして保育園のみならず敬老施設やスポーツクラブで読み聞かせをする友、疎遠だった友から感想文が届いたり、東京では出版記念会が開かれるなど、5組の時を超えた絆が琴線に触れました。青春の門出を共にした3年間のクラスメイトからの共感と賛辞は心の財産となり、2作目にチャレンジできるエネルギーともなりました。皆様ありがとうございました。

絵本『にやごさん』 ぶん愛花めある え 胸井百合子 みらいパブリッシング発行 〒998-0001 3 酒田市東泉町5-19-15 酒田西高等学校有煒同窓会事務局 FAX 0234-(26) 6627

事務局だより

- 維持会費2000円は同封の振込用紙で令和8年3月15日まで納入して下さい。よろしくお願いいたします。
- 振込用紙は郵便局とコンビニどちらでも使用できます。
- 住所・氏名の変更、物故や会報が届かない等の連絡は、氏名・旧姓・卒業年・住所・電話番号(本人以外の場合は、続柄・連絡先)をご記入の上、同窓会事務局宛FAXまたは葉書でお知らせ下さい。なお、振込用紙に変更事項を記入していただいての連絡も可能です。手続きの都合上、電話での連絡はお控え下さい。

いたことを思い出します。まとめた記事の内容を検討し、紙面上の配分と見出しを考えると、記者もどきの作業も楽しいものでした。在学中の3年の間に、全国高校新聞大会にて何度か受賞の榮譽を頂いたことは誇りでもあります。秘密基地のような部室で温めた親交はありがたいことに今でも続いております。



新聞部の部室で 前列左から2人目がゆみさん

文章を作ることが嫌いではなかったので新聞部を選びました。庄内の歴史や運動部の活躍を記事にし、定期的に校内新聞を発行していました。運動部の大会にも取材に向くのですが取材と言いつつ、そこは高校生です。

記者もどきの楽しい経験
坂本 ゆみ

思い出をつづる (27)
酒西 23 回生 (昭和 52 年卒業)



バスケット部の精鋭たち 後列左が和美さん

伝統ある西高バスケット部で二人の顧問の先生のご指導を頂きました。斎藤富士子先生は曲がったことを許さない、笑顔のチャーミングな先生でした。津島弘先生はジェントルマンで情熱的精神は天下一。先生のご指導は繊細かつ大胆な作戦で自信を持ち、前進出来ました。ご指導頂いたことは誇りです。我が西高体育館を会場に3年最後の県予選が行われ結果2位に終わりました。悔しかった。けれど流した汗、涙は無駄ではなかった。バスケット部で培った精神は今も活きています。仲間にも恵まれ、先日の同窓会で同期全員顔

ファイタイトウ
がんばろうファイト!
佐藤 和美

私の職場の取引先の男性で酒田出身の方がいて、聞けば西高の卒業生とのことでビックリし

松本市でのインターハイに出場することが出来ました。



「ヤッツ」の仲間と校門前で 左から2人目が里美さん

叶った！インターハイ出場
渡部 里美

を合わせることでできとつても嬉しかったです。
みんな健康第一での！
ファイタイトウ がんばろうファイト！



お世話になった先生方と陸上部のメンバー 後列左から3人目が薫さん

「一緒にインターハイを目指して頑張りましょう！」という凛々しい先輩の掛け声と共に、私たち23回生の陸上部生活がスタートした。入学したばかりの1年生にとって、インターハイは夢のまた夢。当時の最大の目標は、「1秒でも早く競技場に到着すること」であった。3年間ひた向きに頑張ったつもりでいたが、いつの間にか「史上最弱学年」という誠に不名誉な称号を頂戴するに至ってしまった。確かに不甲斐ない思い出は多々あるけれど、いつも励まし合い、支え合ってきた。半世紀を経て変わらぬ絆の強さは私たちの自慢である。「インターハイに行こう」のスローガンは「皆で温泉旅行に行こう！」に変わったけれど...

史上最高の絆
種田 薫

ました。男子卒業生の皆さんにも、ぜひ有焔同窓会に出てもらえると良いですね。

| 令和6年度 有焔同窓会決算報告 (令和7年度有焔同窓会総会資料より) | | | |
|------------------------------------|------------|-----------------------|-------------|
| ①令和6年度通常会計収入 (単位円) | | ②令和6年度通常会計支出 (単位円) | |
| 項目 | 決算額 | 項目 | 決算額 |
| 入会金 | 756,000 | 会議費 (常任理事会・理事会・編集委員会) | 101,468 |
| 維持会費 | 2,240,000 | 行事費 (総会) | 305,947 |
| 前年度繰越金 | 669,376 | 慶弔費 | 30,000 |
| 雑収入 | 292 | 旅費 | 2,000 |
| 収入合計 | 3,665,668 | 部活動後援会費 | 277,650 |
| | | 会報発行費 | 2,013,841 |
| | | 教育後援会負担金 | 200,000 |
| | | 卒業記念品代 | 130,680 |
| | | 通信費 | 22,134 |
| | | 消耗品費 | 36,202 |
| | | 振込手数料 (維持会費) | 211,711 |
| | | 雑費・基本会計への繰出・予備費 | 0 |
| | | 支出合計 | 3,331,633 |
| | | 通常会計次年度繰越金 | 334,035円 |
| ③令和6年度基本会計収支 (単位円) | | | |
| 項目 | 決算額 | 項目 | 決算額 |
| 前年度繰越金 | 14,847,959 | 入会金 | 189,000 |
| 入会金 | 189,000 | 名簿売上金 | 9,400 |
| 名簿売上金 | 9,400 | 利子 | 809 |
| 利子 | 809 | 同窓会館トイレ改修工事支出 | -1,155,000 |
| 同窓会館トイレ改修工事支出 | -1,155,000 | 収支合計 | 13,892,168 |
| 収支合計 | 13,892,168 | 基本会計次年度繰越金 | 13,892,168円 |

希望と前進「虹色 Go to 会」1977年／S52年卒業

長寿会員の皆さま

リズムセッションで盛り上がった合唱「翼をください」

テーブルを囲んで

みんなで校歌を歌う

祝辞 戸田建三先生

乾杯は高瀬靖先生

ようこそ良多先生

懇親会プログラム

1 開宴の言葉

2 実行委員長あいさつ

3 来賓祝辞

4 長寿会員紹介

5 乾杯

6 会食・懇談

7 アトラクション

「虹色 Go to 会」合唱

♪タヤけ小やけ

♪Over the rainbow 虹の彼方に

～ミュージカル映画「オズの魔法使い」より～

♪翼をください

8 閉宴の言葉

虹色 Go to 会の皆さん

ここからまた前に進もう

実行委員長
菅原由佳里

「例年通り」という言葉が使える喜びを感じながら、今年の総会を182名中同学年62名の参加で運営できました。開催まで支えてくださった同窓会三役や理事の皆様及び学校関係者・諸先輩の方々のお陰様であると心より感謝申し上げます。

私たちの「虹色 Go to 会」は卒業年に希望と前進をテーマに命名しました。卒業後約半世紀を経ての再会でしたが、同期生は無論、会場の方々も親しく思い出話をしたり、新・旧校歌を澗瀬と歌っておられ、晴れやかな笑顔に輝いていました。これからの厳格さと希望に満ちた2つの校歌と共に西高の歴史が絶えることなく引き継がれていくことを願ってやみません。

常任理事を務める同級生に、幹事学年の実行委員を依頼されました。幹事学年がどんな仕事をするのかも知らないままに、懐かしい同窓生に会えるなら楽しそう♪と軽い気持ちで実行委員を引き受けました。しかし、実行委員会の会議を重ねていくうちに、幹事学年の仕事とは懇親会を運営し、ご来場の皆様を楽しんで頂ける様におもてなしをすることだと知った次第です。アトラクションでは、52年卒業生による合唱を披露致しましたが、卒業以来50年ぶりの合唱、60代後半の声の出ないことには、皆落胆しつつも心を一つに練習に励みました。

さて、今年のおもてなしと歌声は如何でしたでしょうか...!!

副実行委員長
莊司 裕子

五十年ぶりの歌声は如何に？

令和8年度
有焔同窓会総会のご案内

○日時 令和8年6月13日(土)

受付／午前10時30分より

総会／11時より

懇親会／12時30分より

○会場 ホテルリッチ&ガーデン酒田

ℓn 0234-26-1111

○会費 4,500円(当日持参)

○申込方法 各学年の理事まで

○申込締切 令和8年4月30日(木)

○当番学年 昭和53年卒業生

○実行委員長 守屋 良子

○問合せ先 ℓn 090-6785-2511 (伊藤 正子まで)



「やらないで後悔するより、やった方がいい」その思いが私の背中を押し、町議会議員として4年目を迎えています。

私は商家に生まれ、27歳の時に父を亡くしました。57歳で店を閉じ、パートに出る日々。働きながら「これでいいの？私の人生」と問いかける自分がいました。

そんな時「議員に立候補してみないか」と声を掛けられたのです。長年庄内町で商売を続け、たくさんの人に支えられ、いつか恩返しをしたい、誰かの役に立ちたいという思いがずっとありました。議員だった父の姿を思い出し、心の奥にあった火がぽつと灯った気がしました。母と娘達は賛成してくれましたが、

庄内町議会議員

渡部

伊君子 (昭和54年卒業)

子ども達の未来・希望・夢の実現のために 62歳の挑戦

夫には反対され一度は諦めましたが、3年後、女性模擬議会に声を掛けられ参加したのをきっかけに62歳の時に挑戦することを決めました。

最初の一年は苦労の連続。議会用語に四苦八苦し、予算書や決算書にも悪戦苦闘。パソコンもうまく使えず、菌痒い思いもしました。そんな中、昨年の豪雨災害を受け、防災士資格取得試験に挑戦。合格でき「継続は力なり」を実感しています。

初めての議会定例会において提案し予算化されたことは、とても嬉しく、誰かの役に立てたと感じられた瞬間でした。小さな積み重ねが町の暮らしを少しずつ良くしていくと信じています。

これからの時代を担っていく子ども達の未来・希望・夢の実現のために、子ども達が安心してのびのび育つ町づくりに取り組んでいきたいと考えています。

「小さな声に耳を向け、小さなことからコツコツと」を大切に町民の声を町政に届けていきたいと思っています。「もう年だし」「あと10年若かったら」と思うこともあります、諦めたらそこで終わり。

私のこの62歳の挑戦が「私には無理」と思っている誰かの背中をそっと押す風になれば嬉しいと思います。



日和山灯台 桜の咲くころ

写真提供 守屋良子氏 (昭和53年卒業)

私がサツマイモ(安納芋)を育てた理由は、焼き芋を売っているのを見ると必ず買うほど好きで、10年前に安納芋を食べた時の衝撃が忘れられなく、売っていた苗を育ててみたら、意外と美味しい芋ができたという簡単な発想にあります。

当時、家庭菜園をしていたの



安納芋の収穫

で、ある程度は育てることを楽しみにやっており、その中の一つで安納芋を育てました。後々は農業を本格的にやりたいと思つての家庭菜園だったので、テストを重ねて安納芋に絞る、本格的な農業を始めの決意をしました。

ただ、そこからは非常に大変な道のりでした。

農地を借りるのも、農家と認められる50a(5反)以上でないと賃借できる要件に当てはまらず、借りられない。

ようやく借りる目途がついて、始めた苗のハウスは強風でグニャリと飛ばされる。

見様見真似で作った苗床は果たして機能するのか、初めて広

大に植える作物は育つか、そして何より売れるのか?等々、当初はプレッシャーだけが胸の中を支配していたのを覚えています。

2018年、実家の陶器店「萬谷」の名前を冠した「芋萬」の名で始め、不安と戦つた1年目、芋が売れ自信を持った2年目、広げられると確信に変わった3年目、広がりを見せた4年目、拡大に弾みをつけた5年目、軌道に乗つた6年目。

そして7年目、ようやく納得がいく芋ができたと思つた時に、タイミングよく全国的な「日本さつまいもサミット2024」25ファーマーズオブザイヤー」を受賞することができました。

さつまいもサミットで、産地出身の方が「悔しいけど、鹿児島

の安納芋よりも、芋萬さんの方が美味しかった」と正直な感想を聞かせていただき、嬉しさと同時に、より自信を深めることができました。

一つひとつ課題を解決し、なおかつ販路の拡大、売り上げ、人材の確保、事業に関わる全てを、当たり前ですが一人で行ってきました。

全国的に農業がしにくくなっている環境にある中ですが、東北一の芋農家目指して邁進していきたいです。

ふるさと人をつなぐ

私は高校を卒業後、秋田県立大学に進学し、農業について学びました。特に私の学科はアグリビジネス学科という出来たばかりの学科の2期生でしたので、教授陣との距離も近く様々なことを学ばせて頂きました。そして卒業後、農業を営んでいる実家で就農し、今年で16年目になります。

さて、昨今「令和の米騒動」と言われ、米価格の高騰が世間を騒がせています。ついこの間まで5キロ1600円程だったものが、4000円以上になったのですから、騒ぎになるのも当然と言えます。個人的には、米の生産量というよりは米の生産力が減少してきたのではないかと感じています。今までは当たり前であつたお米ですが、それを作っている農家の数はすごい勢いで減少しています。高齢化が進んでおり、2050年には現在の農業従事者数の2割程

田んぼを未来へつなぐ

土田農場 経営 土田 伸平 (平成19年卒業)



稲の生育調査中

一線を画しています。

しかし、昔からピンチはチャンスという話もあります。農業においては、人が減つてしまふ分、一人当たりの経営面積が増加しスケールメリットが発生するため、収入が安定しやすくなります。当然、その分労力も増しますが、今はトラクターの自動操舵や多種多様な草刈機の存在など、省力化を目指す方法が沢山あります。それぞれの営農環境に合わせた選択をとっていくことで、今の危機的な状況をチャンスに変えていくことができるでしょう。

実家の近くは私が小さい頃から田んぼが広がっています。見慣れた人にとっては当たり前ですが、今その光景かもしれないが、今その当たり前が岐路に立たされています。自分の子ども達もその風景を当たり前だと思えるよう、田んぼを守っていくこと。それが農家としての私の目標です。

気づけば参加!

『そんなとき一座』との出会い

本橋コミュニティセンター職員

佐藤まゆみ (昭和55年卒業)



敬老のつどいにて 向かって右から5番目が佐藤さん

地元の人形劇の一座があることすら知らなかった私が『そんなとき一座』の存在を知ったのは、退職後に勤務を始めた本橋コミュニティセンターでのことでした。来館される座員の方との何気ない会話の中で、「人形劇、一回見でみっで」と声を掛けると、「んだば、一緒やろー」と自然な流れで誘っていただきました。

最初は「えー、でぎねえ」と尻込みしましたが、「大丈夫だ」と背中を押され、練習場所がコミュニティセンターもあり、気づけば参加していました。何よりミ

演目には「ねずみの嫁入り」「若返りの水」といった人形劇のほか、「とまらなくしゃみ」「こねこのしろちゃん」といった布絵芝居もあり、庄内弁での吹き込みが笑いを誘っています。地域に笑い声が増え、見てくれる人が元気にとの思いで始めた人形劇は、今では会場に集まった方々の笑顔に、私達が元気をもらい活動が続いています。

現在は、新作「三枚のお札」の制作に向けて、仲間達と楽しく奮闘中です。

ティンクを大切にするこの一座のメンバーは、皆さん素敵で、いつも笑いが絶えません。

『そんなとき一座』という名前には、そんなときぞんぞ、できる人が、できることを気負わず、その時の要望に添えて、その時の出会いを大切に、との思いが込められているそうです。子育て支援や高齢者支援の一環として、人形劇・布絵芝居などを、地域の小学校や施設・公会堂で公演しています。他地域からの公演依頼も増え、多くの方々の出会いが私達のエネルギーとなつています。

我が此秋期を楽しく

昭和48年～平成元年 理科 戸田 建二先生



私が高校を卒業して60年の佳節の年に、幹事学年の担任として挨拶できたことに感謝の意を述べます。50年前幹事学年は高2なので修学旅行について語りました。そして、その娘達に

歩みし人生に 苦楽あり
センチが丘の 希望を抱きて

との句を贈らせて頂きました。理科(専攻は物理)の教員として40年、何を語ったかったのかと模索し、退職後『宇宙・地球・生命・人類そしてわたし』との標題の冊子を書き、数十名の教え子にも配りました。標題に、わたしがある通り自分史にもなっています。ひとつの生きた証として十数年かけて書きま

趣味に生きる

平成6年～14年 理科 青山 武先生



この春、定年まで2年を残し退職いたしました。現在は、理科生物の非常勤講師として週2回勤務している他は、趣味に生きる日々を過ごしています。

趣味の一つ目は、生き物の写真撮影です。4月以降ほぼ毎日のように野山を歩き回り、様々な生き物の写真を撮っています。大はカモシカから小は落ち葉の下

のササラダニまで、興味の赴くままに撮影してはインスタグラムに投稿しています。アカウントの二次元コードを載せましたので、ご覧頂ければ幸いです。趣味の二つ目は、演劇活動です。酒西で演劇部顧問を務めたことがきっかけで演劇にはまり、

先生お元氣ですか

「青春」に対して、この年になりましたので「白秋」というのですが、私は「此秋期」と名付けて楽しんでいきます。此とは紫の意です。赤紫だったり、淡くてもよし、濃くてもよしと言いながら。さて今日は黒っぽかな!?

今は光ヶ丘のプールに歩きに行っています。その後の温泉がまた気持ちがいいのです。

酒田西高には16年、4度卒業生を送っています。これが最後にならないよう、健康に留意しながら楽しんでいきます。

現在、劇団ワンライブというアマチュア劇団に所属して酒田市を中心に活動を行っています。酒西や酒東での元演劇部の教え子も何人か所属しており、彼らとともに舞台に立てることは、実に教師冥利に尽きます。

もう一つの趣味は登山ですが、昨年末に心臓を患ってから少し控え気味です。今夏久しぶりに月山に登りましたが、鳥海山頂はもう少しリハビリを重ねてからになりそうです。第二の人生、これからも好きなことに全力を注いで生きていきたいと思っています。

祝 瑞宝小綬章受章

第27代校長 高瀬 靖氏



あれは確か4月1日のこと、西高の佐藤事務長さんが見えになって、「米寿のお祝いに勲章をくださいませんか」とお聞きになる。以後3ヶ月経った頃、事務長さんがわざわざ山形まで受け取りに行かれたそう、まことに恐縮しました。

さて、勲記の方は、大日本国璽と石破総理の捺印はあっても、ど

祝 法務大臣表彰

齋藤 眞里子氏(昭和45年卒)



令和6年10月21日、永年の人権擁護委員としての活動により、法務省において法務大臣表彰を賜りました。過分な賞ではありましたが、ありがたく頂戴しました。

平成24年7月、退職と同時に人権擁護委員を拝命、現職中は地域の皆様のご支援で職務を全うできましたので、何かお役に立てればと思ひ引き受けました。その後人権擁護の活動に携わり、14年目とな

R D (希少・難治性疾患) 当事者と
共に生きていく社会を

R D D in 酒田西高実行委員会委員長 黒田 禮奈 (2年次)



「もしも自分がR D になったら会社はどうするの?」
この問いに答えることのできる企業・地域を作るために、今年度は酒田市地域福祉課と共働で様々な事業を行っています。R D 当事者や家族の「安心でしあわせな暮らし」を可能にするための企業内環境構築を目指し、市役所や商工会議所、支援者の

方々と連携して活動を展開しています。企業がR D 対応に抱える課題を市民とともに考えるため、「Study Tour」に学習し、「企業内インクルーシブ体験」「企業内R D 環境セミナー」といったイベントを企画・実施してきました。働く上でのR D の課題を多くの市民が「自分ごと」と捉え行動することは、よりよいまちづくりへの社会共創に参画することに繋がります。

酒田市は「日本一女性が働きやすいまち」を宣言しています。が、わたしたちはこのことを、女性だけでなく困難を抱える全ての人々の不都合を取り除くことと捉えています。

2026年1月31日(土)の午後に、2年半の活動とその中で明らかになった課題を市民みんなで話し合う「企業内R D 環境フォーラム」を本校会議室で開催します。同窓会の皆様もぜひお越しください。

「R D D」は「Rare Disease Day (世界希少・難治性疾患の日)」の略で、R D 患者のQ O L (生活の質)の向上を目指して、2008年からスウェーデンで始まった活動です。

おめでとう
全国大会出場・入賞


全国高等学校総合体育大会出場
◎ボート 舵手付き クオドルブル
石川 煌大 菅原 貫太
石黒 悠太 後藤 宇宙
菅原 大知
全国高等学校総合文化祭出場
◎書道部門 佐藤 舞
◎詩部門 石山 絢士
全国高等学校定時制通信制 体育大会出場
◎陸上
齋藤 衛杜 (走り高跳び6位入賞)
今野 和晴 高橋 蒼太
◎卓球 池田 良喜
◎バドミントン
佐藤 陽菜 本田 恵香

全国大会に参加して

定時制陸上部部長 齋藤 衛杜 (4年次)

8月11日より東京で行われた全国定時制通信制陸上大会に、陸上部から3名が出場しました。酷暑の中、選手全員が練習の成果を発揮し、2年生2名は自己ベスト、もしくは自己ベストタイを記録。4年生の私は走り高跳びで6位入賞でした。私にとって最後となる大会で結果を出せたことがうれしいです。部全体で来年も良い成績を残せるよう、今後も練習を重ねていきます。応援の程よろしく願います。

定時制
だより



4年ぶりの学校行事「地域探訪」で訪れた
戸沢村仙天堂での集合写真

定時制教頭
土田 聡子

令和6年度卒業生の進路状況と
今年度の大学入試
進路課長 佐藤 敏

| | | |
|--------|-----|------------------------------------------------------------------------|
| 国公立大 | 26 | 山形大学、新潟大学、福島大学、弘前大学、金沢大学、東京外国語大学、高崎経済大学、秋田県立大学、山形県立保健医療大学、山形県立米沢栄美大学など |
| 私立大学 | 54 | 東北公益文科大学、東北芸術工科大学、東北学院大学、明治大学、日本大学、千葉工業大学、神奈川大学、北里大学、実践女子大学など |
| 公立短大 | 6 | 米沢女子短期大学、会津大学短期大学部、大月短期大学 |
| 私立短大 | 2 | 東北文教大学短期大学部、羽陽学園短期大学 |
| 医療専門学校 | 13 | 酒田市立看護専門学校、鶴岡市立荘内看護専門学校など |
| 専門学校 | 16 | 大原ビジネス公務員専門学校、仙台デザイン専門学校、日本デザイナー芸術学院など |
| 大学校 | 1 | 県立産業技術短期大学庄内校 |
| 公務員 | 5 | 山形県警、山形県職員、自衛隊、鶴岡市役所 |
| その他 | 2 | |
| 合計 | 125 | |

令和6年度卒業生の進路状況の内訳は表の通りです。多くの受験生がチャレンジする姿勢で頑張ったこと、全職員で進路指導にあたっていることが良い結果につながっています。

近年は少子化により倍率が低下していることから、粘り強くあきらめないことが合格できるポイントになっています。今年度の大学入試の変更点として、大学共通テストを受験するすべての志願者が、パソコンやスマートフォン等を利用しての出願になります。自己責任の要素が増すため、間違いない出願をしてほしいです。